

2023年度 法科大学院

第1期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず【小論文1】の解答は【小論文1】の解答用紙に、【小論文2】の解答は【小論文2】の解答用紙に、記入してください。
- (5)下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (6)参照は不可となっています。
- (7)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (8)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (9)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (10) 試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の文章は、某法科大学院の教員Aがある日の出来事を思い出して書いたエッセイである。これを読んで、続く問いに答えなさい。

電車のドアが開いた。すでに足を踏み入れる余地がないほどの混み様で、一瞬ためらったが、なんとか潜り込んだ。この急行に乗らないと講義に間に合わない。パソコンの入ったバッグを両足で挟んで支え、つり革を一つ見つけて両手ですがりついた。コロナ禍が始まる前ほどではないが、それにしてもこれはひどい、みんなもっとテレワークに励んでどうか、などと頭の中で文句を言っているうちに落ち着いてきた。周りを眺めると、端の座席にずいぶん恰幅のいい男性が坐っている。横幅はぼくの1.5倍はありそうだ。前に立っている女性ぐらいの人なら2人坐れるだろう。彼が席を譲れば2名が幸福になれるじゃないかと考えたが、そうすると周辺の人たちが窮屈になるから、結局全体の幸福量は大して増えないと気づいた。途中駅で多くの人が降り、また多くの人が乗り込んできた。その出入りの間に坐ることができて気が緩んだのか、すぐに睡魔に襲われた・・・

ここはどこだ？ ぼくは厚い服を着ているのに、周りはみな軽装だ。荷物を持っている人はほとんどいない。それに誰もが格好いい。背丈はいろいろだが、みな均整がとれている。おや、周りの言葉が変だぞ。理解はできるが、日本語じゃないみたいだ。ともかくそこに改札機があるから、外に出よう。あれ、服が違う。定期券がない！

A すいません、ここはどこですか。

利用客B 市ヶ谷駅ですよ。でも、あなたの日本語は変わった響きですね。わたしが幼いころ祖父が話していた言葉とちょっと似ています。どこか遠くからいらしたのでしょ。

A いえ、そんなに遠くないはずなのですが、外国に来てしまったような気がします。どうやって改札を出ればいいのですか。

B あなたも手首にデータチェックバンドを巻いていらっしゃるじゃありませんか。DCBを付けていれば、ただ通り抜けるだけでいいんですよ。

A あ、ほんとうだ。いつこれを巻き付けたんだろう。

(二人とも改札機を通過する)

A どうも有り難うございました。ところで、DCBに62.5という数字と371という数字が出ていますが、これはどういう意味ですか。

B それは、あなたの重量が服と荷物も含めて62.5キログラムで、出発駅から到着駅までの料金が371円であることを示しています。

- A そうすると、乗車区間が同じでも人によって運賃が異なることになりますね。
- B それはそうでしょう。わたしの場合、DCBに表示される重量はたいてい53.5キログラムです。あなたより9キログラム軽いのですから、運賃もその分安くなって当然です。でも、重量が同じで乗車区間も同じなら、差別扱いされることはありませんよ。
- A おっしゃることは理解できますが、日ごろ節制しているのに病気で太ってしまう人がいると思います。その人も自分の重量に見合った運賃を払わないといけないのですか。
- B はい。電鉄会社に運賃を支払う段階では、誰もが重量と乗車区間を基礎にして計算された額を・・・

その時、隣りの人に肩をたたかれて目が覚めた。その人にもたれかかるようにして眠っていたようだ。おっと、市ヶ谷だ。乗り過ぎさなくてよかった。それにしても、夢の中のあの人は、どうしてあんなに丁寧に説明してくれたんだろう。

問1 夢の中の電鉄会社が採用している運賃の確定方法を正当化するとすれば、どのような根拠を挙げることができるか。あなたの考えを500字程度で記しなさい。

問2 夢の中の電鉄会社が採用しているデータチェックバンド（DCB）を用いる方法が現在技術的に実現可能であるとして、あなたはその導入に賛成するか、反対するか。結論と理由を合わせて500字程度で記しなさい。その際、運賃の決め方に関する現在の法制度のことは考慮しなくてよい。

[小論文 2]

下記の【課題文】を読み、その内容を踏まえた上で、【問 1】と【問 2】に答えてください。

解答は、解答用紙 [小論文 2] に記入してください。[小論文 2] では、字数指定はありません。

解答の際には問いの番号を明記して解答してください。

【課題文】

<省略>

<社説 毎日新聞 2022 年 6 月 4 日より>

【問 1】(20 点)

視覚障害者の安全という観点からは踏切にはどのような問題があるのか、記載しなさい。

【問 2】(30 点)

踏切を安全なものにするための課題文の提言をまとめた上で、あなたの見解を記載しなさい。